

対象	事務局の説明内容	意見・提案要旨	発言内容（主な意見のみ抜粋）	会議録ページ	
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・8月：方針の決定及び意見聴取 ・12月：素案の説明 ・3月：案の説明 ・4月：教育大綱施行 	-	-	6	
策定方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国の教育振興基本計画を参酌する。 ・次期総合計画を勘案する。 ・教育振興基本計画との整合を図る。 ※教育振興基本計画も同時並行で策定作業を進め、9月以降、教育委員会会議で議論する。教育大綱と教育振興基本計画は今まで同一の基本理念を掲げており、どのように落とし込むか協議する。【教育総務課長】	第2期の計画における課題がどのように第3期に反映されたか。	策定の方針として課題を踏まえ、重要となる考え方、そしてキーワードを教育長が言われたように検討するべき。基本的に何か変える、変更をかけるというときには、現状の足りてない部分とか、PDCAとか、今の現状に即していないから変えるというのが本筋という中で、現行の第2期の状況と課題があるとすればお聞かせいただきたい。	8	
		表現の平易化。専門用語を避け、子ども・市民にも伝わる語と説明に置き換える（対象読者が誤解なく理解できるようにするため。）。	一般の市民の方、教育関係者、子どもにも見てほしいと思うので、分かりやすい言葉で表現していくといいのではないか。いろんなものと整合を取りながら、そして分かりやすく、すっきりとしたものになればいい。	9	
		国の教育振興基本計画の表示を強調しすぎないようにする（例：枠を図外に置く／比率を縮小する）。市の範囲（大綱）と国計画の関係が視覚的に分かる構図にする。	図の国の教育振興基本計画については枠から出したほうが位置づけとしては分かりやすい。	9	
		子ども計画との整合を図る。 ※児童福祉専門部会で初めて体系図を示した。子ども計画の基本目標と教育大綱の基本方針と整合が取れるように調整する。【子ども課長】	教育大綱が子ども計画のどこまでカバーできるかという点検は庁内で調整するということか。	10	
基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ・「「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、ともに未来を創る人づくり」 ・他計画との整合を図る。 	現行案のとおり、『愛着と誇り』を核に据え、各方針の起点として位置づける。	基本理念は、時代や状況が変わっても変わらない普遍的な価値観を示すもので、ふるさと廿日市に愛着と誇りを持つという文言は前回は方針のところにも入っていたと思うが、方針では掲げずに基本理念だけに打ち出されているというところで、方針1から4までの全ての根幹になっているということが理解できる。	12	
		『ともに』は、生涯学習の『ともに学び、ともに支え合う』や共生社会の実現もイメージできる。	『ともに』は次期総合計画の言葉が反映されているが、生涯学習の『ともに学び、ともに支え合う』という理念や、共生社会の実現もイメージできる。	12	
		個人の幸せだけではなく、地域の幸せ、他者の幸せなど、「ともに」一緒に幸せになるという表現である「ウェルビーイング」はどうか。	国の教育振興基本計画にも頻出しているが、ウェルビーイングという言葉がかなり市民権を得てきた。このウェルビーイングという言葉はそれぞれの個人の幸せだけではなく、地域の幸せとか、他者の幸せとか、「ともに」一緒に幸せになるという表現。	12	
基本方針	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで子育てを支え、子どもの成長への喜びを広げます」 	子どもと大人のつながりを表現しては。	子どもと大人が気軽につながることができる居場所が多いまちがいい。例えば「子どもと大人が気軽につながり、子どもの成長の喜びを分かち合います。」	18
			『子育て』（子ども主体）を明記し、家庭支援のみに偏らないことを示しては。	今回、子どもに対しての支えを起点にするというのであれば、子どもが主体的に育っていくのをみんなが支えていくという意味で子育てという言葉を使うことがある。子育てを支え合うとすると、一方的ではなく、子どもからも何か戻ってくるようなイメージがある。	20
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「心身の健やかな成長による子どもたちの自らのチャレンジ・自己実現を支援します」 	「子ども」が先頭に来た方がよい。	子どもたちというのが2段目の頭についているが、先頭に来たほうがよい。	21
			知・徳・体の知の部分あまり見えない。	知・徳・体の知の部分あまり見えてこない。	21
			『命』『人権』『思いやり』等を説明文で明記しては。	これは第3期の方針の心身の健やかな成長というところに内包されるという何らかの説明文がほしい。命を大切にするという文言でなくてもいいが、そういうニュアンスのことに触れてほしい。生命や人権を尊重する心、人を思いやる心、そういう豊かな心を育むということは、豊かな人間性を形成する上でとても重要なことであり、そのあたりに触れていただきたい。	23
			方針2を二つに分けるのはどうか。	まとめるのが難しければ、方針というのは増えてはいけないのか。方針2を二つに分けることもご検討いただきたい。	24
			『…を支援します』ではなく、「まちの状態」を述べる表現に改めるべき。	支援しますという表現について、行政サイドの方針というようなニュアンスになってくるので、まちをこの状態にしますというのにはマッチしないような感じがします。	24
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・「生涯にわたって自分らしい心豊かな育ちを支援します」 	方針であるため、過去形の表現を控えるべき。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史と伝統文化を守り、活かし、伝える心を育みます」 	まずは「知る」こと。 「未来」を用い、子ども・大人が共に主体的に関わる姿勢を示しては。	歴史や伝統文化を守るから始まっているが、ふるさと学習もそうだが、まずは、知らないが始まらない。知る、理解するといった言葉を入れてもいいのでは。そして、伝える心、未来を創る人づくりと基本理念にあるため、未来へつないでいく心とか、そういう表現のほうがマッチする。	27
			宮島の歴史・文化・自然を具体例としては。	「自然」が入らなくていいのか。宮島のまちづくり基本構想の中に歴史、文化、自然の記載がある。	28
			心を育むだけでなく、具体的な行動にまで至るような表現にしては。	心を育むというよりは、歴史や伝統文化を知って、守って、生かして、伝えようという行動まで含めて考えたほうがいいのか、心という表現には違和感がある。	28
			『守り・活かし・伝える』と『心を育む』の係り受けを明確にしては。	「守り、活かし」も心へつながるのか、守って、活かして、そして伝える心というくりなのか、守る、活かす、伝える、心を育むということなのか。	28
宮島、自然を説明文に含めては。			宮島の世界遺産が歴史、文化、自然、総合的に評価されて指定され、自然のことは書かないにしても、視点として持っておかなければいけない。廿日市は宮島だけではないにしても、世界にも誇れる宮島のある廿日市ということで、説明文に宮島という文字が含まれるのがいい。	29	